

卒業式特集

人間の本性は やっぱり善なのだ

212 横山 新菜
(名古屋市立南陽中学校出身)

百聞は一見に如かず。戦争を経験していない私たちが戦争を語るには未熟すぎると、マウトハウゼンを訪れて思いました。たくさんの宿舎が並ぶ通りを歩き、当時の人々に想いを馳せました。展示室には、当時の人が着ていた服や拷問のために使っていた道具が並んでいて、赤いシミが飛び散った小部屋の前を通ったときには、とてつもない恐怖を感じ心臓が激しく鼓動し、涙が込み上げてきました。戦争とはこういうものだと思ってきました。戦争を甘く見ている人は一度ここを訪れるべきです。平和な世界を保つためには、一人ひとりの心が重要です。ガイさんの「人間は誰でも悪い心をもっている。それが壊れるとこういふ結果になってしまう。足元の蟻を踏み潰すように」という言葉が印象的でした。アンネ・フランクの著書に「…人間の本性はやっぱり善なのだ…」という言葉があります。人間のなかには悪と善は同時に存在し、誰もが理性をもって悪を抑え、善を本性にしているのだと思います。コントロールできなくなると人間は悪に様変わりしてしまうでしょう。弱い人を助け奉仕の精神をもち平和を願い続けることを、後世に語り継がなくてはなりません。

平和学習を終えて

212 古橋 実希
(蟹江町立蟹江北中学校出身)

私たちは、修学旅行3日目にマウトハウゼン強制収容所へ行きました。事前学習で観た映画「シンドラーのリスト」はすごく衝撃的で惨く悲惨だったのが印象的でした。実際にその場に行くと、静かで寂しくて、そこだけ時間が止まっているようにも感じられました。

当時あった物が展示されているところに行ってみると、1着の赤ちゃん用の服が置いてありました。それは収容所の中で生まれた赤ん坊の物で、その赤ん坊が生まれた時に、収容されている人たちが自分たちの持っている数少ない服の布などを使って作られたものでした。自分たちがいつ死ぬのかも分からないのに、なぜそんなに他人に優しくできるのか、なぜそんなに優しい人たちが意味もなく殺されなくてはいけないのか、考えただけで涙が止まりませんでした。

今回の平和学習でいろいろなことを知って、それは決して気分がいいものではなかったけれど、「このことがなかったことになる日は絶対に来ないでほしい。」

そう強く思いました。私たちはこの修学旅行で様々な音楽を聴いて、見て、学んできました。だからそれも含めて、自分たちのこれからに活かされる良い経験ができたのではないかと思います。

オーストリア修学旅行 音楽科

3月2日から8日にかけて、2年生音楽科は修学旅行として、オーストリアを訪れました。生徒たちはさまざまな体験を通して、日本では得ることのできない経験をしてきました。



学ぶことが多かった 修学旅行

212 白金 宙河
(半田市立半田中学校出身)

僕が今回の修学旅行で学んだこと、感じたことはたくさんあります。その中でも最も心に残ったのは、サウンドオブミュージックの舞台にもなったザルツブルクのミラベル宮殿を訪れたことです。僕たちは今年度、50周年演奏会でサウンドオブミュージックの歌と踊りをやりました。マリアが子供たちと駆けていった木のアーチのトンネルや、ドレミの歌のクライマックスを歌った門を見ることができたのはすごく印象的でした。本当はその場所、その場面を踊ったり、歌ったりするのが夢でしたが、今年は雪のため規制がかけられていて入ることができず、少し残念でしたが、その場所にただでワクワクすることができました。もう一つはウィーン少年合唱団の小学校の見学です。その中でも、



合唱団の生徒に対する授業はとても刺激的で、僕がこれまでの声楽のレッスンで触れたことのない歌い方や声の出し方のテクニックを発見することができ、すごく参考になりました。日本で教えることができない多くの発見がありました。そして、大人になって外国語を学んだら、いつか留学をして本場で歌を学びたいなど強く思いました。

すべてが 美しいザルツブルク

212 堀田 美羽
(名古屋市立千種中学校)

修学旅行中の私の日課は、訪れた場所ごとにその土地の空気をたっぷり吸うことでした。ザルツブルクの街中は、建物一つひとつがとても綺麗でお洒落で、私は何度も息を漏らしたかわかりません。また、まっさらな青空に映える多くの山々に何度も目を奪われたことでしょう。そんな息をのむような素晴らしい景色に触れ、私は心が洗われたような気持ちになりました。なかでも、ノンベルク修道院へ向かう坂道から見下ろす景色や、マカルト小橋から左右を見渡した時の景色がとても印象的で、これが「音楽の都」なんだと感動しました。

かつてまだ字が読めない人が多かった時代に、一目で何屋かわかるように素敵な看板で埋め尽くされたザルツブルクの目抜き通り、ゲトライデガッセでは現地の人達のにぎわいを肌で感じるすることができました。治安面で少し警戒していましたが、優しい人達が多く古い街並みや雰囲気にとっても興奮しました。

ザルツブルクから良い気をとくもらって、今頑張っていることが上手いように、これからの自分に活かせたいなと思います。



Schedule (行事予定)

4月		
6	金	入学式
9	月	始業式
10	火	実力考査
		語学EP説明会
		医看MP説明会
11	水	3年生進路ガイダンス
13	金	美術EP説明会
		基礎学力検定
18	水	1年生フレッシュマン合宿(～19日)
19	木	2年生遠足、3年生上山研修
20	金	休校日

21	土	PTA常任委員会
27	金	見真の日
5月		
12	土	PTA総会・3年生進路ガイダンス・学級懇談会
17	木	午前授業
18	金	中間考査(～22日)
28	月	ウエサカ祭
31	木	見真の日
31	木	体育大会(日本ガイシホール)
6月		
5	火	1年生キャリアガイダンス
6	水	生徒会役員選挙立会演説会

7	木	歯科検診
13	水	創立記念日
15	金	音楽科公開実技試験
17	日	商業科珠算電卓検定
22	金	見真の日
23	土	地域懇談会
24	日	地域懇談会
28	木	商業科簿記実務検定
28	木	午前授業
29	金	期末考査(～7月5日)
30	土	地域懇談会

今号は卒業式特集です。

「苦しくて涙の時は“頑張れ”より“大丈夫”」これは卒業生達が作詞・作曲した合唱曲『わたしへ』の歌詞の一部です。

合唱曲の自作は初めての取り組み。この合唱曲を含め、卒業生全員の生の声から創られた「合唱構成詩」は

素晴らしいメッセージに生まれ変わり参加者全員に大きな感動を与えてくれました。

この日本一と言ってもよい卒業式を、在校生一人ひとりが残された高校生活に生かしてくれることを期待します。

同朋高等学校長 梅田 功

卒業式

「しん」に込めた思い、自分たちで作った卒業曲、会場にいる人みんなの胸に伝わっていますよ！

2017年度

合唱構成詩「しん」

起立！気を付け！お願いします！
おねがいします
今日は卒業式、高校生活最後の日
この3年間、全部で何日だったか計算すると1047日！
だけど、こんなにあった高校生活は、今日で終わる！
しかも卒業式はあと第2部だけ！
第2部が終わったら、僕たち、私たちは卒業します！
それではノートを開いてください。卒業式第2部「しん」をはじめます！
委員長！
なんですか？
「しん」ってどうやって書くんですか？
好きな漢字と意味をかいてください。しん、という読み方の漢字が思いつく人！
はい！心と書いて、しんと読めます
そうですね。他には？
親鸞聖人のしん！
確かに！他にありますか？
新入生のしん！

◆入学式

（新・今までにないことであつた場所へ）
新しい制服、新しい学校！校舎に張られた自分の名前。友達できるかな？担任の先生は怖くないかな？自由服登校ができる、個性を尊重してくれる校風に憧れて同朋高校へ！こどもつと自分の個性を伸ばしていきたい。
緊張しながら入った体育館、初めて会う天子からの「おはよう」。うれしくて不安がふきとんだ。「生徒が手伝つてる！偉いなー」と思ったら担任の先生だった。若くて生徒と見分けがつかなかった。
さあ、いよいよ入学式！その前に八正道の説明が。「一同合掌！」あれ？礼じやないの？
式が終わり、高校生活が始まる！中学より勉強が難しくなるし、部活だって朝練が始まってきつくなる。でも、自分で選んだんだから絶対楽しもう！

◆フレッシュマン合唱

（清・がむしらで素直に何でもやれた）
いきなりの合唱行事。朝から晩までひたすら勉強した。目指せ合格！でもいけ

るかな？私は勉強が得意ではない。勇気をもつて隣の子に質問。分からないところ全部教えてくれて無事合格！その子とは今でも仲良し。
フレマンの休憩は友達が増える！この子と仲良くなりたいつて思ったら、自然と声をかけていた。ご飯で息抜き！いたたまずの前に先生から手を合せるときは音をたてないように言われた。だけどいつもの癖で手を叩いて先生大激怒！いつになったら「飯食べられるのだろう」。戸惑ったけど仏教の学校つてことを改めて感じた。

愛情部屋はきびしいのかと思うたら意外と優しくかった。後半になるとメンバーが毎回一緒。夜までずっと一緒に勉強してた。深まった基礎学力と謎の絆。苦手だった勉強が少し楽しくなった。

◆体育大会（深・積み重ねてきたもの）

群団リレーは緊張で足が震えた。だけど聞こえてくる応援の声が嬉しくて、全力で走りきることができた！
女子といえど玉入れ！上ばかり見ていたら向かい側からも玉が！あれ、地味に

痛んだよね。男子は騎馬戦！開始の合図で選手の色が変わる。男と男の本気の戦い！
意地とプライドがぶつかり合う教員リレー。熱い戦いに応援もヒートアップ！高橋先生のラストラン。たかじい、かつこようたぜ！
全員で行事を楽しみむきつけを作りた！群団の壁を越えたい！それを叶えるために初めて企画したゴール。「We are?」「同朋！」「全員の声が一つになった瞬間、心が躍った。

絶対優勝しよう！意気込む団長。でも練習には全然人が集まらないし、全員の息が合わなかった。その時感じたのは人を引っ張っていく難しさ。先輩たちはどうやって教えてくれたらいい。1、2年生の時ばかりでなかった3年生の苦勞。先輩たちがやっていたネームプレートを私たちもやってみよう！会話がなくなる。つられて先輩たちが少しずつ練習に顔を出してくれるようになった。

いよいよ本番、団陣で群団の心が1つに。アダンス、パネル、女装。各群団の個性が光る応援合唱。練習以上の成果を発揮できた！

終わった後、教室に入ると黒板に後輩からメッセージ。「楽しかった！ありがたうございました」。言葉をみて、みんなで頑張れたことを実感し、涙が込み上げてきた。みんな、一つのものを作るのは大変だし、嫌なこともある。でも完成させたとき、たくさんの感動をわかちあえる！

◆文化祭

（進・大切なのは完成させるだけではなく、一歩一歩進んでいく過程）

ないのに笑ってしまっ。
ヨーロッパで音楽の楽しさを改めて感じた！この経験は今の僕たちに活きている。私たちが音楽の楽しさを伝えられる人になろう！

◆学年行事

（心・1つになりたい、その一心で奮闘した）
3年生全体の仲を深めるために、開催したスポーツ大会と予餞会。クラス対抗ではなく学科を越えた群団を結成！たくさん話しかけて、今まで関わりがなかった人とも仲良くなれた。全員でやった大玉送り！初めて同じチームになったとは思えないほどのチームワーク。

卒業式への気持ちを高めていこう！その思いで企画した予餞会。みんなが笑顔になるようなものを、自分たちの手で作って思い出にしたい！この学年にしかあらわせない楽しさを目指した。

今までかわってくれた先生方にも感謝と成長をつたえたい。なにをすれば伝わるかな？ひとつひとつ丁寧に考えた。セクシーな有志発表1つになったクラス企画。私たちがだけの思い出を作れた！企画してくれてありがとう！

◆部活（伸・本気になり、学べたこと）

楽しみにしていた部活動。最初は何をしたらいいかわからなかった。だけど周りの人に助けってもらいながら成長できた。予想以上に練習が厳しく、最初はついでいくので必死だった。でも徐々に周りをいることができるようになった。先生や先輩に怒られてばかり。いつも愚痴を言っていたけど、今ならわかる。真剣に向き合ってくれて私たちが後悔しないように道を示して



初めての文化祭、教室を使ってゴージャスな迷路をつくれるなんて！中学校まではできなかったことにワクワクした。
2年生はミュージアム。ただ展示するだけじゃない！どうやらおもしろくできるかな？来てくれた人が楽しめる展示をめざした。
3年生は演劇とパフォーマンス。去年は台風で再演がなかった。だからどんなものかうまく想像できなかった。どんな内容にしよう？今までは誰かが決めてくれると思っていた。だけど、今回は自分たちでテーマ決めから毎日探っていた。みんなアカデミー賞をとりたい、妥協したくないって本気で思っていたんだよね。
私たちはオリジナル脚本で勝負！どんな話にしようか、どんな役を入れたら面白いかな、ゼロからつくるって楽しいけど大変。計画通りに進まず、クラスの温度差は広がるばかり。だけど頑張る人の姿を見て

◆修学旅行
（真・きれいな海、きれいな街。そんな場所にあった、私たちの知らない現実）
楽しみにしていた修学旅行！普通科と商業科は沖縄！ドキドキしていたらいつの間にか空へ！
沖縄には忘れてはいけないものがある。多くの人の命を奪った地上戦。現地に行きたことで、授業だけでは感じることの出来ない現実を学んだ。ヌチヌジガマは死者が出なかった奇跡のガマ。実際に入って感じたことは、平和に過ごせる今は幸せなんだってこと。これから日本はどうするの

か、基地問題に関心がわき、戦争や米軍について考えるようになった。
「おかえり！」と迎え入れてくれた伊江島のおじい、おばあ。私たちの為に作ってくれたごはんは、沖縄で食べたものの中で一番おいしい！山に星を見に行った夜、名古屋で見えるより綺麗で感動した！戦時中はどんな風に星をみていたのかな。同じ星空なのに、いまは平和に星を見られるんだよね。1日という短い間だったけど、日常の話や悩み事も聞いてくれた。一気におじい、おばあとの心の距離が縮まった。帰りのフラリーに乗るといつてらっしゃい！の声。涙が止まらなかった。
飛行機の窓から小さくなつていく沖縄が見えた。もうすぐ帰れる。ちやうとした安心とは裏腹にまだ沖縄にいたいと感じて胸がしんとあくなかった。
音楽科はヨーロッパ！移動時間は15時間。みんないつの間にか爆睡！
カラフルな建物、鼻も背も高い街の人々。本当にヨーロッパに来たんだ！
マウトハウゼン強制収容所。ここにたくさんの方が収容されていたと思うと胸が苦しくなった。8万1千人の名前が書かれた部屋。様々な言語の追悼の言葉がありそれを見たとき、世界から戦争がなくなつてほしいと思った。
ウイーン少年合唱団を見学！音楽をたのしむと思う子供たちの顔、キラキラしてて素敵だった。一緒に歌ったマンボイタリアーノ、楽しかったな！
男子が時差ボケで寝坊！電話をかけたら「今起きました。ごめんなさい」よくみたらみんなも眠そうな顔してる。
オペラ鑑賞で「セビリアの理髪師」を観た。コメディ要素が強くて、言葉はわから





くれたこと。練習を重ねることに技術も精神も鍛えられた。だんだんと、できなかったことができるようになった。

最後の大会、先生や応援の声が聞こえてくると1人で戦っているわけじゃないと感じた。今までやってきてよかった、私はみんなと一緒に戦っているんだ。あと一歩のところで全国大会に行けなかった。今年は絶対みんなで行きたい。そう思っていたから決まった時うれしすぎて涙が溢れた。

どんなにマネージャーの私が努力したって試合に勝てるわけじゃない。それでもみんなの力になった。自分にできることは何でもやろうと思ってる3年間続けた。みんなからの「ありがとう」。逆に私が力をもらった言葉。つらいこともあった。でも違う考え方、感じ方の人に出会った。物事を色々な角度からみれるようになった。

僕たちは3年間ともに高めあつてきた。その中で生まれた絆はこれからも続く！部活で得た力を使つてさらなる高みへ！

◆日常・学科（慣・物事を疎かにしない）

何気ない会話。ただそれだけなのに驚くほど盛り上がる。ついつい話が長くなつて、何本も電車を見逃した。「次の電車に乗ろう！」「これ、何回言ったかな。席替えをしたら周りに仲のいい子がいっぱい！教室にいる時間が楽しくすぎて、1人になるとすこし寂しかった。

英語はあの子、数学はこの子！私には先生がいっぱい。「これどうやるの？」「分からないところも力を合わせて解決した。大嫌いなテスト勉強も、みんなやると楽しい！

下駄箱は1年生の時からずっと一緒に。学年が上がつても朝「おはよう」と声をか

◆家族へ（心・中身をつづてくれる）

忘れ物ない？遅刻するよ！外寒いから気をつけてね！そうやっていつも気にかけてくれてありがとう。家族でご飯を食べると、すごく美味しい。でも、1人だとそうじゃない時がある。部活の試合はいつも見に来てくれて、学校の活動にも積極的に参加してくれた。何度壁にぶつかつても「おまえなら大丈夫！でも、本当につらくなったら相談しろよ。」って応援してくれて、いつでも私の味方でいてくれた。でも、それが当たり前に思えて、つききつてきたつもりもなかった。本当はそんなつもりはないんだ。家族思いで情に厚く、誰よりもかっこいいあなたは私の憧れです。

18年間を振り返ると家族のおかげで乗り越えられたことがたくさんある。2年生の夏、ケガで手術をした。自由に体を動かさなくなつて悔しかった。そのときお父さんが言ってくれた「ケガで柔道ができなくても心まで腐ったら人としてダメになるぞ」力強い言葉。苦しんでいた僕は、



けてくれる仲間、それとも今日が最後、私たちの代からはじまった美術系、デザイン、色彩、作品制作。1人で黙々と作るだけじゃなく、みんなで話し合いながら作ることもあった。授業後に残って作品を完成させることは、大変だった。だけど作品作り、真剣な友達がいれば頑張れたよ。

数学、ちょっと得意だしな。興味本位で選択した理系と医療看護系。なのに最初のテストは平均40点。やっていけないのかな。隣から「さようなら」が聞こえる。私たちに待ち構える7時間目。始めはひたすら睡魔との闘い。でも、同じ目標を持つたくさんの仲間がいるから乗り越えられた。商業科にやつてくる検定シーズン。検定日はテストの前日や、文化祭前日だった。「なんで忙しい時にこぶせてくるの？」クラスでブーイングの嵐。学校外から講師の方に来ていただいた講演会。授業でわかつたつもりでいたけど、自分たちの社会に対する甘さを感じた。先生や講師の方から学んだ技術、心がけを大切に社会で活躍で

この言葉で前向きになった。それから部活のサポートをするようになったけど、お父さんの言葉を胸に頑張ることができた。感謝の気持ちでいっぱいなのに、「ありがとう」って素直にいえなかった。

何も言わずに仕事を頑張ってくれた。疲れているのに家では必ず笑顔。家族の時間を大切にしてくれたのが嬉しかった。嫌なことがあったり、友達とけんかをしてしまった時も、家に帰るといつもあたたかい。心配して話を聞いてくれた。そのおかげで前に進むことができたよ。

お父さん、お母さんのおかげで大切な友達に出会えました。充実した3年間を送ることができました。いつもありがとう、これからもよろしくね。

◆友達へ（信・分り合える存在）

いつも一緒にいると考える事も、言う事も笑い方も似てきた。喋るタイミングまではつちり！いつも笑っていられる！小さい時からずっと一緒にいたあの子。高校でもそれは変わらず、帰りはいつも一緒に少しもさみしくなかった。これからは別の道。お互い頑張ろう！

朝、学校に行きたくないと思った時も、みんなが待っているから頑張れた。今ここにいるのはあなたのおかげです。「元氣ないね、なんかあった？」悩みがあるときに相談に乗ってくれた友達。関係ないのに自分と同じくらい悩んでくれて一緒に解決してくれた。そんな素敵な仲間に出会えた3年間。

同期に来たらいつもみんながいた。卒業したらきつと会える時間が減つてしまう。私たちはまだまだ同期にいたい。喧嘩もしたけど最後は仲直り。楽しく笑える毎日

きる大人になりたい。

今年の音楽科は50周年！例年より演奏会が早い。夏休み前から猛練習。音楽科が一つになつて最高の舞台を完成させる事ができた。1人が歌い始めたらみんなが歌って、音楽が流れたらみんなが踊りだす。いつでもどこでも音楽に溢れていた。音楽科ならではの空間が大好き！

◆先輩へ（振・振り返る）

時にはぶつかった。でも、がむしゃらに頑張ってきたね。みんなの姿を見て私ももっと頑張らなかつて思えたよ。先輩としての自覚が芽生えて、しっかりしなきゃ！って言葉と行動を変えてみた。これでよかったのか？って何度も思ってたけど、それでもみんなはいつまで経っても。

失敗を恐れず、挑戦してください。どんな結果になつてもそれはいい経験になります。私たちが支えられたみたいに、あなたにも悩んだとき解決のヒントをくれる仲間がいます。つらい時、支えてくれる仲間がいます。みんなは1人じゃない。胸を張って、あなたがたはあなたたちのやり方で輝いていってください。

1年生には先輩が出来ます、同期の良さをたくさん教えてあげてください。2年生、これからの高校生活、一日一日を大切に仲間と過ごす日々は何にも代えられない。

先輩と呼んでくれてありがとう。みんなと会えたこと、先輩になったことをとても誇りに思います。生意気だけどどっかっているあなたが大好きです。何かあったらいつでも頼ってね。私たちはあなたの味方だよ。

が幸せだった。これからはみんなとそんな時間を大事にした！卒業してもまた会おう！

◆わたしへ

今日は卒業式。高校生活最後の日。この3年間、全部で何日だったか計算すると1047日。だけど、こんなにあった高校生活は、今日で終わる。もつとここにいたいけど、今日は最後の日。楽しいことも

◆先生へ（親・寄り添ってくれる）

同期の先生は面白い人ばかり。勉強以外にも大切なことをたくさん教えてもらった。先生になる前の話とか体験談を聞かせてくれた。放課後に分らないところを聞きに行つた。先生だって忙しいのに、どんなときも最後まで教えてくれる。そのおかげで頑張ることができました。1年間しか授業に入っていないのに、気にかけてくれた先生。テストの結果がでると、「頑張ったね！頑張ってくれる。一般受験の勉強中、俺も受けようかな」と一緒に模試を受けてくれた。生徒と同じ目線で「頑張ろう」と言ってくれる先生に出会えてよかった。いつも少し離れたところから見ている、自分たちが頑張っている先生は笑顔になってた。その笑顔を見たらもうと頑張ろうと思えました。

初めて行事を企画した。「頑張らなきゃ、絶対に成功させなきゃ。プレッシャーで、押しつぶされそうだった。終わった後声をかけくれた先生。「成績が上がるともないし、行きたい大学にいけるわけでもない。なのになんでこんなに頑張れるのかな？って思ってたけど、きつと理屈じゃないだろうね。君は自分の生徒だけど、生徒としてよりも人間として君の事を尊敬するよ。お疲れ様」涙が止まりませんでした。先生だったから、こんなにも心に響いたんだろうな。頑張つてよかった！心からそう思えました。あの時かけてくれた言葉は忘れません。

厳しくて嫌になる時もあつたけど、大人になつたらきつと誰も叱つてくれない。先生のおかげでここまで成長できました。同期の先生に出会えてよかったです！

苦しいこともあつた。でも今は同期高校でよかった。同期高校がよかったと思える。卒業が近づくとつれて、ありがとう、楽しかった、いろんな気持ちを溢れて止まらない。最後にこの気持ちを形にして、卒業したい！みんなの想いを一つにした曲。仲間がいるから今日までこれた。曲が完成した時、この強い絆でこれからも歩いていけると思えた。この曲で私たちは伝えたい。

『わたしへ』

作詞（卒業生一同）

追いかけて、追いかけて続ける
君の背中が大きく見えた
苦しくて涙するときは
「頑張れ」より「大丈夫」
少し違つて見える
空を見上げて目を閉じてみる
友と笑いあった日々を
ひきだしにしまおう
遅刻さざりざりにくぐる門
睡魔と闘つた時間目
薄くぬぐってゆくカレンダー
今終止符を打つとき
時間とともに過ぎた当たり前が
いつしか私たちの距離を
縮めてくれた
支えてくれたことで強くなれた
思いを胸に、この歌を私へ贈る

たくさんの思い出が輝いて
いつか私の夢を輝けているように
支えてくれたこと、今伝えたい
思いを歌に、兼せてあなたへ
時間とともに過ぎた当たり前が
いつしか私たちの距離を縮めてくれた
支えてくれたことで強くなれた
思いを胸に、この歌を私へ贈る
がむしぎりに走り続けた
仲間と共に流した
あの日の汗を僕たちは忘れないように
追いかけて、追いかけて続ける
君の背中が大きく見えた
苦しくて涙するときは
「頑張れ」より「大丈夫」
あなただから大丈夫
わたしたちが大丈夫





1・2年生 球技大会

スポーツレクを通して得たもの

105 墨 沙南 (名古屋市中立心中学校出身)

「このルールの方がいいんじゃない？」
今まで様々なレクを企画、運営してきた
中でも今回のスポーツレクは一番大変
でした。特に種目、ルール決めはクラ
スメンバーの意見がぶつかり、とて
も時間がかかりました。それは
すべて440人全員が楽し
める会にするという気持ち
があったからだと思います。ど
うやらみんなが楽しめる
のか、本当にこのルールで大変
夫なのか。当日までも不安
でした。

今回のレクではクラス連だけで考え
るのではなく、皆の意見も大切にしよ
うと「こんなルールが欲しい」というアン
ケートを取りました。決まったルールを日良で

クラスに伝え、出場メンバーを決める際に調整
がうまくいかないなどのトラブルがありました
が、クラスのみんなの協力により、無事に決める
ことができました。

前日には進行の流れや、足りない道具がな
いかなど最終確認をして、当日も朝早く集
まって会場の準備をしました。どれもひとりでは
うまくいきません。全員が協力し、フォローし
あつて私たちはスポーツレクを成功させること
ができたと思います。

1年間クラス連に携わってきましたが、1人で
成し得たことはつまりありません。先生方やク
ラス連メンバー、クラスのみんなに支えられて頑張
ることができました。「ありがとう、頑張っ
てね。」の一言はとても支えになりました。皆は私
にとって時に頼れる大切な仲間です。



みんなに感謝

208 森 麻琴 (名古屋市中立心中学校出身)

今年は天気に恵まれた絶好の運動日和でし
た。
今年は種目の候補を出し決めることから
自分たちで行うので、去年よりも苦しい場面
もたくさんありました。企画を考え始めた初め
のうちは、気持ちにも時間にも余裕がありまし
た。しかし当日が近づくと、つれてやらなければ
ならないことの多さや時間不足にリリリして

ぶかきともありました。それでも最後は、実
行委員のみんなが球技大会を成功させたとい
う気持ちで毎日準備をしました。
参加してくれたみんなに「人すつ」「楽し
かったですか」と聞いてみたいです。私は実行委員
として、学年のみんなが「楽しかった」と思っ
てくれたら幸いです。実行委員長を任せられ
ながら目撃すると支えてくれた実行委員のみな
な、先生方、当日生懸命競技に参加してくれ
た2年生のみんな。ありがとうございました。



球技大会を振り返って

109 加藤 ひかる (桑名市立陽和中学校出身)

今回のスポーツ大会は、今までのレクリエー
ションの中でも一番みんなが楽しめたもの
になったと思います。けれど、その分クラス連
はのすく事前の準備や運営、片付けが大変
でした。

私は主にリレーの班で活動しました。
はじめは、全員が楽しめるような姿が浮か
ばなかったし、元々の予定や、ほかのグループ
よりも大幅に遅れていたため、本当にどう
しようかと思っていました。だから遅れてい
る分、他の班よりもたくさん集まって話し
合いをしました。一人ひとり走っていたら
時間がかかる、見ている人はどうしたら楽

しめるだろう、課題がたくさんありました。
何度も試作を考えて、その度に失敗をし
ました。最終的に「台風の目」に決定して、
当日やってみたら、たくさんの方が楽しそ
うに競技を行っていて、とても嬉しく思
いました。クラスのみんなの団結力を感ずる
こと、意外な面も見ることができた。閉会式のマ
イクを向けた自分たちから直接、笑顔で楽し
かった」と言ってもらえたことで、今まで
大変だった事なんか忘れられるくらい、やつよ
かたなど思いました。



卒業生への メッセージ

- 101 だいすき
- 102 Do Your Best
- 103 Good Luck
- 104 未来へ羽ばたいて
- 105 あせらずゆっくりと自分のペースで
- 106 ただありがとう
- 107 心から感謝
- 108 一笑懸命
- 109 優しさに感謝を込めて
- 110 翔
- 111 幸あれ
- 112 ありがとう(夢)
- 201 みんなが主人公
- 202 飛翔
- 203 いつかできるなら 今日できる
- 204 行け未来 叶えろ夢 さらに「同朋生」の先輩達
- 205 明日も
- 206 Get set, go!
- 207 望
- 208 ワンダフルな人生を
- 209 426通りの道
- 210 喜びも悲しみも やがて花になる
- 211 OPEN The dream
- 212 高校生活全終止 人生は半終止



Club & Award News

柔道部

- 新人体育大会 愛知県大会
- 女子48kg級 第3位 伊藤 羅奈(207/小牧市立小牧中学校出身)
- 女子63kg級 優勝 柿原 宮七(204/一宮市立大和中学校出身)
- 全国大会ベスト16
- 女子団体 第3位
- 男子63kg級 第3位 長谷 晃希(203/名古屋市中立心中学校出身)

サッカー部

- 新人体育大会 サッカー名南支部大会 優勝
- 愛知県大会ベスト16

女子バスケットボール部

- 新人体育大会 女子バスケットボール名南支部予選 第7位
- 県大会出場

ラグビー部

- 新人体育大会 ラグビーフットボール大会名南支部予選 第3位
- 県大会出場

女子蹴球部

- 愛知県新人体育大会 第3位
- 愛知県高等学校女子サッカーリーグ戦 第3位

その他

- 第68回中日書き初め展 中日書道会賞
- 山崎 一慶(111/星槎名古屋中学校出身)

(クラス表記は、2018年3月現在)

合格体験記

先日卒業した先輩から、在校生のみなさんに進路に関するメッセージを寄せていただきました。

愛知教育大学教育学部 教育支援専門職業養成課程 心理コース 合格

普通科 村尾 優香里
(名古屋市立はとり中学校出身)

私の受験生活は高2の夏からスタートしました。進路を考え始めた頃は、関西地方のレベルの高い私立大学を志望していました。しかし、絶対ここに行きたい！という強い感情は無く、フワフワとした進路の考え方でした。

塾に通うようになり、覚えることが多い英語と古文を勉強し始めました。ソフトボール部に所属しており、学校のテストも手を抜かず両立させていました。受験勉強の方は、高2の学習平均時間が3時間だったので、まず3時間は確保しようと思っていました。そうしてだんだんと勉強の習慣がついていきました。

以前から担任の先生に三重大を勧められていたし、授業料が安いことを知っていたので国公立大も視野に入るようになりました。そうなるとう5教科7科目勉強しなければならず、数学を避けたかった私は迷っていました。部活の先生にその事を言うと、「みんな同じ。みんながやらないで決めた事をやろうとする事に意味があるんだよ。」と言われ、それが迷っていた私を押して高2の冬に私は志望校を国公立大に変えました。そしていろいろ考えてたくさん悩んで、愛知教育大学で学びたいと思うよ

うになりました。

勉強する科目も増え、3年生からの生活は正直地獄でした。週5で塾に通うために、部活を早く切り上げ、帰ってから予習と復習を欠かさずにやっていました。それでも結果が出ず、伸び悩んでいました。模試もずっとE判定だったし、簡単な問題を間違える日もあったし、何度か諦めようと思いました。11、12月はセンター試験の焦りと不安でいっぱい毎日でしたが、親・クラスメイトの応援と、先生方の経験や「最後まで伸びる」の言葉を支えに頑張っていました。

第一関門のセンター試験の結果はBミヨ。いろいろ考えて、愛教大はダメ元で推薦を、国公立前期は愛教大を諦め、三重大を出願しました。合格発表の日、自分の番号があつた時は、もちろん嬉しさが大きく、受験が終わった解放感、達成感、寂しさなどいろんな感情が出てきました。

この1年半は長いようでとても短かったです。毎日のようにセンター8割9割の会話を聞いて自信を失い、参考書や授業料でお金は飛んでいる、重い重いリュックを背負い……。体力・精神力と戦う日々でした。しかし、苦手から逃げなかつた、たくさんの人に出会えた、知識が増えた、良い影響を受けた、諦めなかつた、これらが私が受験生活で得た誇りです。

ミズケン株式会社

商業科 今福 麻友
(あま市立七宝中学校出身)

私が就職しようとしたきっかけは、母が事務職という単純な働きかけでした。私は昔から家の間取りやデザインを見る事が好きで、将来は建設関係の仕事に就きたいと考えており、その時に見つけたのが「ミズケン株式会社」でした。前年度にこの会社を受けた人数は8人で内定者はその内の1人でした。倍率を知った時、最初に思ったことはネガティブな事はかりでした。でも、自分のしたい仕事を見つけることができたのに

挑戦せず諦めたら後悔すると思い、夏休みに会社説明会に行き、たくさん悩んだ結果、第一志望に決めました。会社説明会後に「笑顔が素敵だね」と言われたことが強みになりました。第二志望が決まっていたら内定をもらうために自分が納得いくまで文章を考え、先生方に添削してもらい、面接練習も10回以上してもらいました。夏休み明け2週間後には試験だった為、1日1回(1人のペースでは間に合わないと感じました。自分でも難しい道を選んだのに、「きついなあ」と思うことも、面接練習が上手くできずに悔しくて涙した時もありました。

一次面接は雑談に近い面接でした。素の自分で話す事が出来るのは自分にとってプラスにもマイナスにもなります。私はその時にしっかりと敬語で話していたか、とても不安になりました。普段から敬語を身につけておく、後に自分が楽になると思います。一次面接を通過し、二次面接も終わって数日、進路担当の先生から電話で「おめでとう、さいます」と言われたときは本当に嬉しくて、諦めずに頑張つて良かったし何事にも挑戦する事の大切さを改めて実感することができました。関わっていたいた多くの方には感謝の気持ちでいっぱいです。3月1日から仕事が始らず、始まっていますが、毎日初めてのことで分からない事はばかりですが、高校生活で培った力を生かし頑張っていきます。

岐阜聖徳学園大学 教育学部 学校教育課程 音楽専修

音楽科 山下 純奈
(知市立竜北中学校出身)

「私は音楽が好き。教員になって、子どもたちと共にもつと音楽を深めていきたい。音楽の可能性を知りたい。」

そう思つて、私は「岐阜聖徳学園大学 教育学部 学校教育課程 音楽専修」を志望しました。

私が本格的に受験勉強に取り組み始めたのは高3の夏です。その頃に受けた模試の結果は、岐阜聖徳学園大学E判定。私の受験学力は絶望的でした。そのため、まずは入試で必要全ての科目の基礎を固めることを目標とし、夏休みは毎日6〜11時間ほど勉強をしていました。また、入試では実技試験もあったため、楽器の練習も欠かしてませんでした。勉強と練習の時間を合わせれば、毎日10時間を超えていたと思います。

私は、秋に岐阜聖徳学園大学の推薦入試を受けましたが、学力不足により不合格でした。もう無理だと失望し、しばらくは勉強に身が入りませんでした。一般入試で受験する大学を考え直していたとき、「やっぱり岐阜聖徳に行きたい。ここで学びたい。」と強く思いました。もう弱音は吐かないと決め、今まで以上に力を入れて勉強に取り組みました。一般入試までの約2か月、私は1日の期間が、一番苦しかったです。入試への焦りや不安、不合格への恐怖から、泣きながら勉強した日もありました。

一般入試の合格が発表されるのは卒業式の日でした。正直なところ、私は式どころではありませんでした。私が結果を見たのは、式が終わった後、教室に戻ってすぐです。合格でした。私は安堵と嬉しさで、いろいろな感情が混ざり、友達に抱きついて泣いていました。

大学受験は、私が想像していたより何倍も大変でした。でも、だからこそ受験を乗り越えられたとき、私は自分の大きな成長を感じることができました。また、受験を通して、改めて人の温かさやありがたさに気付くことができました。私を支えてくれた家族や友だち、先生方には心から感謝しています。皆さんのサポートがあったから、私は合格を掴み取ることができたのだと思います。

これから大学受験や就職活動に挑む皆さん、どんなに小さな努力も積み重ねていけば、それは大きな力に変わります。私も夢を叶えるために頑張ります。お互い頑張りましょうね！

(2018年3月1日現在)

2017年度 入試合格・就職状況(一部)

四年制大学

同朋大学、名古屋音楽大学、名古屋造形大学、京都光華女子大学、愛知教育大学、愛知県立芸術大学、愛知大学、愛知学院大学、愛知工業大学、愛知淑徳大学、金城学院大学、至学館大学、修文大学、椋山女学園大学、大同大学、中京大学、中部大学、東海学園大学、名古屋外国語大学、名古屋学芸大学、南山大学、日本福祉大学、藤田保健衛生大学、名城大学、皇學館大学、鈴鹿医療科学大学、四日市看護医療大学、岐阜聖徳学園大学、昭和音楽大学、女子美術大学、洗足学園音楽大学、関西大学、近畿大学、京都造形大学、びわこ成蹊スポーツ大学、立命館アジア太平洋大学 など

短期大学

津市立三重短期大学、名古屋柳城短期大学、岐阜保健短期大学、など

商業科

憧れの四種目1級

310 木澤 友香 (名古屋市立はとり中学校出身)

私は最初全員受験の検定だけ受かればいいと考えていました。しかし、初めて勉強する商業系の検定で気持を入れた「生懸命努力し合格した時の喜びや嬉しさなど、徐々に増えていく賞状に「もっとたくさん資格取得したい」と思うようになりました。

また、1年生の時に卒業式前の各種表彰で多くの3年生の先輩方が名前を呼ばれて受領し、そんな先輩方がとても格好よく見えて、「私もあの中の一人になりたい」と思い、三種目以上1級を取得するという目標がはつきりとなりました。それからは、三種目以上1級を目指すのはもちろんのこと、またそれ以外にも積極的に様々な検定に挑んできました。

選択コースの関係で、授業を受けていない検定や独学の検定試験もありましたが、居残りをして授

業を受けている友人に聞くなど、授業を受けていない分、自分なりにその穴を埋めるために頑張りました。

さらに、私は情報処理部に所属していたので、解らないときは顧問の先生や部活仲間、先輩から熱心に教えていただいたりしたので、部活を通じて検定勉強がとても役に立ったと思っています。

特に検定は学期によりますが、定期考査と重なることが多く、今まで一番勉強したのではないかと思うくらい力を入れました。また最後まで諦めず取り組むことで頑張ることができました。

それは決して自分だけの努力だけではなく、友人に教えてもらったり、先生に教えていただいたりと、たくさんの方のおかげで4冠という賞をいただくことができました。

この同朋高校で、検定を通して最後まで諦めずに努力することの大切さを学びました。そのことを忘れずにこれからも頑張っていきたいと思っています。

そして、後輩のみなさん。「検定が嫌だ」「辛いな」と思っている人も、努力は絶対無駄にならないので、諦めずに頑張つて下さい。そして、合格してもしなくても「努力してよかった」と実感できる時が来ると思います。その気持ちをバネにぜひ多くの検定にチャレンジしてみてください。

全国商業高等学校協会主催 検定試験

四種目1級合格者

大橋 いのり
(名古屋市立千種中学校出身)
木澤 友香
(名古屋市立はとり中学校出身)
後藤 美紅
(名古屋市立御田中学校出身)
羽地 凜
(名古屋市立日比津中学校出身)

三種目1級合格者

市川 瑞希
(名古屋市立御田中学校出身)
岡本 怜佳
(名古屋市立黄金中学校出身)
金城 ステラ ユキコ
(あま市立七宝中学校出身)
可児 瑞穂
(一宮市立尾西第一中学校出身)
澤田 菜々香
(名古屋市立日比津中学校出身)
服部 夕奈
(あま市立甚目寺南中学校出身)
平松 杏梨
(江南市立布袋中学校出身)